

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	3	3	総合探究科

使用教科書	副教材等
現代高等保健体育（大修館書店）	現代高等保健体育ノート（大修館書店） アクティブスポーツ（大修館書店）

科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す
--

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けている
②思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う力を身に付けている
③主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養おうとしている
評価方法	
技能：チェックテスト 思考・判断・表現：行動観察・授業ノート 主体的に学習に取り組む態度：行動観察・授業ノート	

学習計画						
月			単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体育理論 体づくり運動	生涯スポーツの考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ 体ほぐしの運動	各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方は、個人の健康目標などによっても変化するものであることを主体的に理解できるようにする ライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることを主体的に理解できるようにする 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと		○	○
5	<領域選択> 球技 武道 ダンス	バレー、バドミントン、テニス、ソフトボール 柔道 創作ダンス	球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 武道に主体的に取り組むとともに、伝統的な行動の仕方、責任、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 ダンスの名称や用語などを理解するとともに、交流や発表をすること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に主体的に取り組む	○	○	○
6	水泳	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ	自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び水泳に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を主体的に確保することができるようにする。	○	○	○
7	体育理論	日本のスポーツ振興	スポーツの推進を支援するために、企業や競技者の社会貢献、スポーツボランティアや非営利組織（NPO等）などが見られるようになっていることを主体的に理解できるようにする		○	○

9	体づくり運動	体力を高める運動	実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て主体的に取り組むこと	○	○	○
10	球技	サッカー アルティメット テニス、バスケット バドミントン	多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行いなどを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○
11	球技	サッカー アルティメット テニス、バスケット バドミントン	多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行いなどを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○
12	体育理論 スポーツと環境	スポーツと環境	スポーツに関わる人々の増加は、例えば、地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることを主体的に理解できるようにする		○	○
1	球技選択	サッカー アルティメット テニス、バスケット バドミントン	多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行いなどを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。	○	○	○
2						
3						